



笑顔あふれる柏っ子

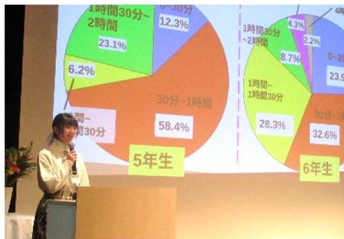
～「やる気・根気・勇氣(心の苗木)」を自分で育てる柏っ子～

校長 南舘義孝

国の重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」が4年ぶりに通常開催となりました。本校からも、「塩町えんぶり組」「十一日町えんぶり組」をはじめ、28名の柏っ子がえんぶりに参加しました。「えんぶりの日」となっている2月17日の「一斉摺り」では、大勢の観衆を前にきらびやかな衣装を着け、堂々と愛らしく舞っていました。観衆から大きな拍手を送られ、笑顔いっぱいの柏っ子の姿がありました。

◆ 堂々と発表した「八戸市統計調査員大会」(6年生)

2月7日(水)、八戸市主催「八戸市統計調査員大会」が、八戸ポータルミュージアム「はっち」を会場として開催されました。この大会は、毎年開催されており統計の普及啓発を図るための大会で、今年度は、柏崎小学校が研究発表の役割となりました。6年生が、自分たちで作成したスライドをもとに、堂々と発表しました。発表テーマ「よりよい自分



めざして ～メディアの上手な使い方～」について、6年生全員のメディアの利用状況(内容・時間等)をグラフで表したり、メディアについて考え取り組んだことを紹介したりしました。八戸市長からは「すばらしい。大変勉強になりました。」、県の職員の方からは「大人の我々も考えさせられ、反省しました。」というありがたい感想をいただきました。

◆ 笑顔で披露した「第44回愛好会合同演奏会」

2月10日(土)、本校の伝統の一つである「第44回愛好会合同演奏会」(合唱・バトン・吹奏楽)を八戸市公民館において開催しました。柏崎地区の来賓の皆様をはじめ、多くの観客を前に、柏っ子は日頃練習してきた成果を堂々と笑顔で披露しました。どの発表も、心一つにして今まで育て支えてくださったコーチ・保護者の皆様への感謝の気持ちが伝わってくるような発表でした。会場からは大きな温かい拍手をいただきました。会場を後にした皆さんからは、「すばらしかった、たいしたものだ。」「大変楽しむことができました。涙が出てきそうなところもありました。」という、心温まる感想をいただきました。



◆ 感謝・笑顔いっぱいの「6年生を送る会」

2月22日(木)、4年ぶりに体育館へ全校児童が集まって「6年生を送る会」を行いました。今年のテーマは、代表委員会で話し合った「『感謝』中学生になってもがんばってね」です。そのテーマに向かって、招待状やメッセージを丁寧に作成しながら準備してきました。送る会当日は、「かわいいダンス」や「オリジナルの作詞の替歌」、「6年生へのアンケートクイズ」など、全校児童が大いに盛り上がりました。感謝、そして笑顔あふれる一日となりました。

